

2019年3月期第2四半期(累計)
(2018年4月1日～2018年9月30日)

決算参考資料

2018年11月13日



東証・名証1部上場 コード:9900
設立:1970年3月
資本金:71億7810万円



目 次

1. 連結対象企業の事業内容	—————	P2
2. ホールディングス体制への移行	—————	P3
3. 店舗展開の状況	—————	P4
4. 2019年3月期第2四半期(累計)の 業績概況	—————	P6
5. 財政・キャッシュフローの概況	—————	P6
6. 2019年3月期第2四半期(累計)の 業績・取り組みについて	—————	P7
7. 2019年3月期の通期業績予想	—————	P8

1. 連結対象企業の事業内容

○ 連結子会社の対象範囲は9社であります。

[連結子会社]

名称	住所	資本金又は 出資金	当社の 出資比率	事業の内容
サガミレストランズ株式会社	名古屋市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガマネジメントサポート	名古屋市	10,000,000円	100.00%	グループの管理業務 保険代理業 店舗設備のメンテナンス業務
株式会社サガミフード	名古屋市	70,000,000円	100.00%	食材の仕入・製造業務 輸出入業務
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	100.00%	海外事業の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	4,350,000米ドル	100.00%	海外事業(ASEAN)の統轄
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	Thailand	4,000,000バーツ	69.09%	飲食店の経営
NADEERA GLOBAL CO.,LTD.	Thailand	600,000バーツ	49.00%	関係会社への投資
VIETNAM SAGAMI JSC	Vietnam	6,490,600,000ドン	100.00%	飲食店の経営

○ 主な海外統括会社および事業会社の設立日

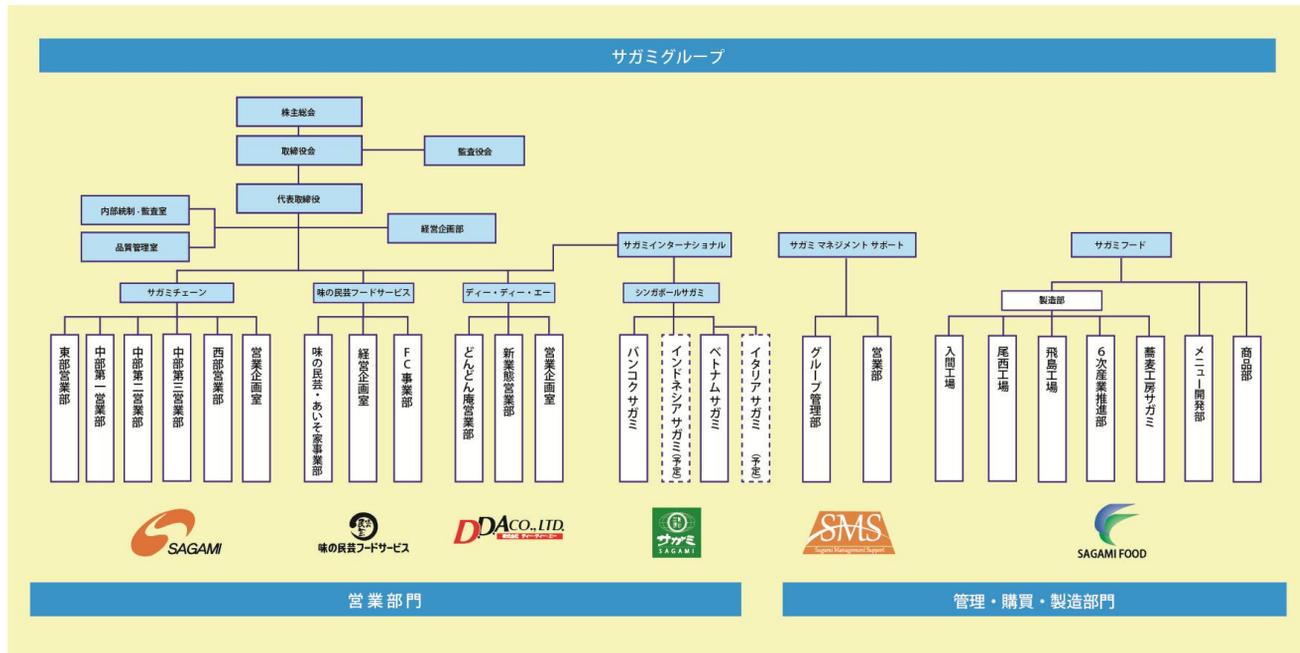
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	----2013年06月03日
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	----2013年10月17日
サガミインターナショナル株式会社	----2014年04月01日
VIETNAM SAGAMI JSC	----2016年01月11日

※吸収分割契約による持株会社体制への移行

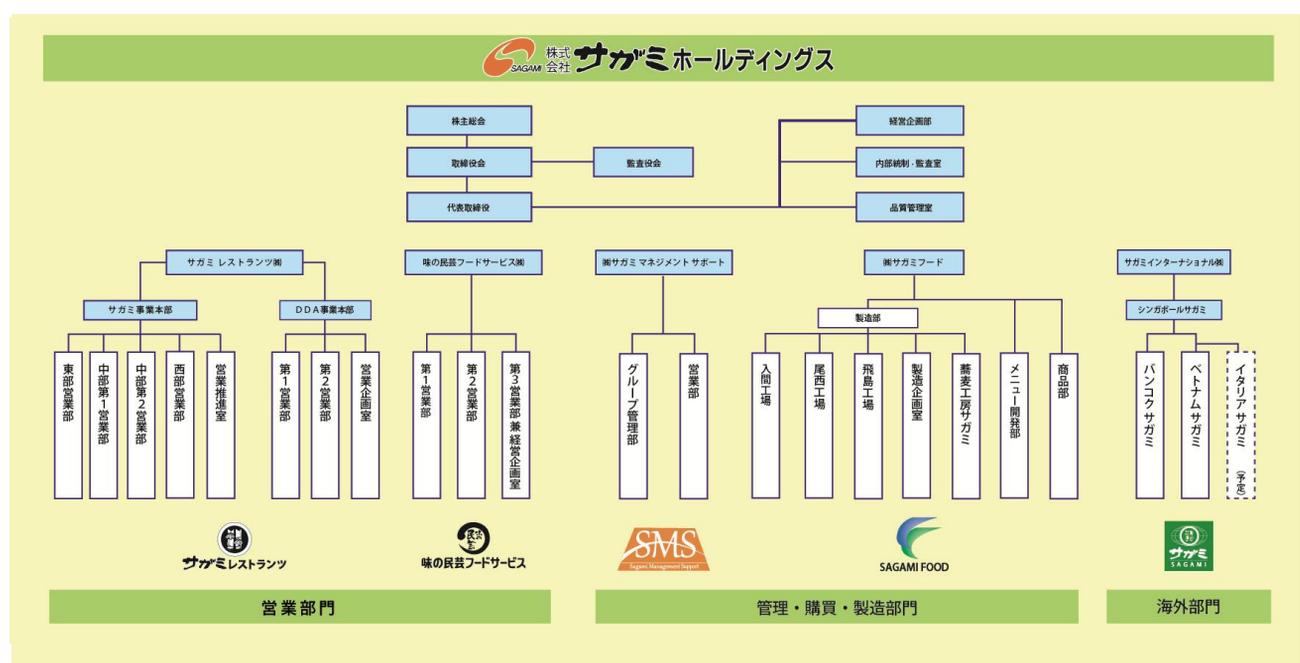
当社は、平成30年6月4日開催の取締役会において、当社を分割会社とする会社分割(吸収分割)による持株会社体制への移行の決定、および株式会社ディー・ディー・エー(平成30年10月1日付で「サガミレストランズ株式会社」に商号変更。以下、「承継会社」といいます。)との吸収分割契約(会社法第784条第2項に規定する簡易吸収分割に該当します。)の締結を決議し、平成30年10月1日付で当社の事業を承継会社に承継いたしました。

2. ホールディングス体制への移行

○ ホールディングス体制移行前のサガミグループ組織図



○ ホールディングス体制移行後のサガミグループ組織図



○ グループ会社について

- ◆ サガミレストランズ株式会社は、主に和食麺処サガミ業態、どんどん庵業態、製麺大学業態、かつたに業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態、あいそ家業態、水山業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミマネジメントサポートは、主に管理業務、保険業務を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフードは、主にメニュー開発、食材の仕入・製造を行っております。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、主にASEAN地域での事業の統轄を行います。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、主に海外事業展開の統轄を行います。

3. 店舗展開の状況

	2018年 3月期	2018年3月期 第2四半期			2019年 3月期計画		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麵処サガミ	133	3	-	136	3	-	136
濱町	3	-	1	2	-	-	3
日本料理 さがみ庭	1	-	-	1	-	-	1
さがみ庭(SC店)	1	-	-	1	-	-	1
サガミ村	1	-	-	1	-	-	1
Dela Pasta Kitchen	1	-	-	1	-	-	1
健やか食堂	1	-	-	1	-	-	1
どんどん庵(FC店舗含む)	34	-	-	34	-	1	33
かつたに	1	1	-	2	2	-	3
製麺大学	4	-	-	4	-	-	4
味の民芸(FC店舗含む)	55	-	-	55	2	-	57
団欒食堂あいそ家	9	-	-	9	-	-	9
水山(FC店舗含む)	4	-	-	4	-	-	4
びんむぎ	2	-	-	2	-	-	2
JINJIN	2	-	-	2	-	-	2
ぶぶか	0	1	-	1	1	-	1
フランチャイジー店舗	2	-	-	2	-	1	1
その他国内店舗	1	-	-	1	-	1	0
海外 上海	1	-	1	0	-	1	0
海外 タイ	1	-	-	1	1	1	1
海外 インドネシア	1	-	1	0	1	1	1
海外 ベトナム	2	-	1	1	-	1	1
海外 イタリア	0	-	-	0	1	-	1
合計	260	5	4	261	11	7	264

*業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。

*海外店舗は、業績数値反映期間を2018年1月期～6月期としておりますが、店舗数等の説明に関しましては、国内の累計期間に合わせ、2018年4月期～2018年9月期の状況にて記載しております。

○ 業態毎の店舗展開について

<国内>

◆ 和食麵処サガミ業態

2018年4月に「越谷南店」、2018年6月に「東海店」、2018年7月に「豊橋柱店」を開店いたしました。
これにより、和食麵処サガミ業態の店舗数は、136店舗となりました。

◆ 味の民芸業態

当期間での店舗数の増減はありません。
なお、味の民芸業態の店舗数は、55店舗であります。

◆ かつたに業態

2018年5月に「アピタ四日市店」を開店いたしました。
これにより、かつたに業態の店舗数は、2店舗となりました。

◆ ぶぶか業態

2018年4月にらーめん専門店「吉祥寺北町店」を開店いたしました。
これにより、ぶぶか業態の店舗数は、1店舗となりました。

◆ その他業態

2018年9月に「濱町 座間店」を閉店いたしました。

国内業態におきまして、上記以外の店舗数増減はありません。



『和食麵処サガミ 東海店』



『ぶぶか 吉祥寺北町店』



『かつたに アピタ四日市店』

<海外>

◆ 中国

2018年4月に、「盛賀美 静安寺店」を閉店いたしました。

◆ インドネシア

2018年6月に、「SAGAMI イオンモールBSD店」を閉店いたしました。

◆ ベトナム

2018年7月に、「JINJIN」を閉店いたしました。

海外展開におきましては、11月にイタリア、ミラノ駅前への出店を計画しており、重要出店地域と位置付けていたASEANに加え、欧州での店舗展開も視野に入れ取り組みを進めております。

以上により、2018年9月末のグループ店舗数は、国内259店舗、海外2店舗の計261店舗であります。

* 海外店舗は、業績数値反映期間を2018年1月期～12月期としておりますが、店舗数等の説明に関しましては、国内の累計期間に合わせ、2018年4月期～2018年9月期の状況にて記載しております。

4. 2019年3月期第2四半期(累計)業績概況

○ 連結ベースの経営成績

(単位:百万円/円)

	2018年3月期 第2四半期(累計)	当初計画 第2四半期(累計)	2019年3月期 第2四半期(累計)	当初計画 差異
売上高	13,213	13,250	13,430	180
営業利益	536	420	405	△15
経常利益	576	440	433	△7
当期純利益	439	310	255	△55
一株あたり 当期純利益	16.68	11.76	9.69	△2.07

○ 前期との比較について

主力業態『和食麺処サガミ』の同期間の既存店推移

	2018年3月期 第2四半期(累計)	2019年3月期 第2四半期(累計)	前年比
売上高	8,608百万円	8,527百万円	99.1%
客数	6,726千人	6,484千人	96.4%

5. 財政・キャッシュフローの概況

○ 連結財政状態

○ 連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円/%)	2018年3月期	2019年3月期 第2四半期 (累計)
総資産	18,175	19,483
純資産	14,089	14,214
自己資本比率	77.5	72.9

単位 (百万円)	2018年3月期 第2四半期 (累計)	2019年3月期 第2四半期 (累計)
営業活動によるキャッシュフロー	625	487
投資活動によるキャッシュフロー	△304	△389
財務活動によるキャッシュフロー	△484	1,088

○ 設備投資について

連結設備投資は377百万円(2018年3月期第2四半期累計実績 417百万円)となりました。

○ 減価償却費について

減価償却費は249百万円(2018年3月期第2四半期累計実績 248百万円)となりました。

6. 2019年3月期第2四半期(累計)の業績・取り組みについて

○ 2019年3月期第2四半期(累計)の業績について

◆ 主力業態「和食麵処サガミ」の業績について

2019年3月期第2四半期(累計)につきましては、度重なる大型台風や深夜営業時間の短縮による影響があったものの、季節限定メニューがお客様の評価を受けたことに加え、新規出店店舗の業績も堅調に推移したため、売上高は前年を上回る結果となりました。

◆ 「味の民芸」の業績について

曜日変動による影響もあり、既存店における前年売上高超えが50ヵ月連続(2018年4月末時点)で終了したものの、その後の売上・客数ともに堅調に推移しております。

◆ 利益数値について

既存主力業態の売上高が好調に推移したものの、労働需給の逼迫による人件費の上昇などのコスト上昇要因に加え、天候不順等の自然災害の影響により、連結営業利益および経常利益、当期純利益ともに前期を下回ることとなりました。

○ 2019年3月期第2四半期(累計)の主な取り組みについて

◆ 新規出店の加速

2018年4月にらーめん専門店「ぶぶか 吉祥寺北町店」、「和食麵処サガミ 越谷南店」、5月に「かつたに アビタ四日市店」、6月に「和食麵処サガミ 東海店」、7月に「和食麵処サガミ 豊橋柱店」の合計5店舗を出店いたしました。
引き続き、店舗網を拡大しサガミブランドの構築を進めてまいります。

◆ 「手羽先サミット2018」で殿堂入り認定

2018年6月8日から3日間、名古屋市中区久屋大通公園で開催された「手羽先サミット2018」にて、サガミの手羽先が殿堂入り認定を果たしました。
当社グループの主力一品料理である「なごやめし」の代表格の手羽先は、ブランド力向上に欠かせない商品として位置付けております。



◆ 名証IR EXPO2018に出展

2018年7月20日、21日の2日間、吹上ホールにて開催された「名証IR EXPO2018」に出展いたしました。両日も、多くの株主様や投資家の皆様が来場され、直接ご意見をいただくことができました。今後も、当社の魅力を多くの株主様、投資家の皆様に伝えられるよう取り組んでまいります。



◆ SKE48とのタイアップキャンペーンを実施

2017年に引き続き、名古屋を地盤として活動を行っているアイドルグループSKE48とのタイアップキャンペーンを実施いたしました。

新たな顧客層のみならず、既存顧客層へ向け、サガミの商品券やSKEオリジナルグッズの当たるポイントカード企画や「さるそば対決」を実施いたしました。

今後も、時代の流れに合った様々なマーケティング手法を取り入れてまいります。



— サガミ48th × SKE48 10th キャンペーン —

7. 2019年3月期の業績予想

○ 連結ベースの業績予想

単位 (百万円)	2018年 3月期	2019年 3月期
売上高	26,184	26,500
営業利益	883	700
経常利益	960	740
親会社株主に帰属する 当期純利益	597	440

○ 2019年3月期について

◆ ホールディングス体制移行

2018年10月1日にホールディングス体制への移行を実施いたしました。
経営戦略機能と業務執行機能の分割メリットを最大限に発揮するべく、取り組みを進めてまいります。

◆ 中期経営計画

各事業の進捗状況や今後の環境を見据え、中期経営計画『ローリングプラン2020』を策定いたしました。
「事業基盤の強化」「収益力の向上」「成長戦略の推進」の基本戦略に加え、CSV経営を推進し、
ビジョン“No.1 Noodle Restaurant Company”の実現に向け、邁進いたします。

◆ 新規出店の加速

本年度は、主力業態である「和食麵処サガミ」、「味の民芸」の出店に加え、とんかつ専門店「かつたに」
など、その他の業態においても出店を行い、更なる店舗展開を実施してまいります。

◆ フランチャイズ事業の推進

らーめん専門店「ぶぶか」、手延べうどん業態「水山」、とんかつ専門店「かつたに」、
セルフうどん「どんどん庵」のフランチャイジー募集を本格的に実施いたします。

◆ 健康メニューへの取り組み強化

健康的な食事を求めるお客様ニーズは年々増加しており、小売、流通、外食各社において
その取り組みは増加傾向にあります。当社の主力商品であるそば自体も健康価値が高い商品ですが、
更にお客様の健康に貢献できるメニュー開発に積極的に取り組んでまいります。

◆ CSV経営の推進

企業と社会の両方に価値を生み出す「共創価値」を向上させるために、
本年度より、ESG (Environment, Social, Governance) の取り組みを強化いたします。
環境保全活動の推進、社会貢献活動の継続、ガバナンスの強化を進め、
持続的な企業価値の向上を目指します。

◆ 出店重点地域

国内においては、今後も人口の増加が予測されている関東圏および中部圏を、
海外においては、経済発展が期待できるASEANおよび欧州を最重要地域と位置付け、
展開を進めております。

※ 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、
今後様々な要因により当初予想数値と異なる可能性があり、毎年見直してまいります。

ディスクロージャーポリシー (Disclosure Policy)

(1) 基本方針

サガミグループは、『私たちは、「食」と「職」の楽しさを創造し、地域社会に貢献します～すべては みんなのゆたかさと笑顔のために～』という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

(2) 情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム(TDnet: Timely Disclosure network)に登録し提供しています。TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れることもあります。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

(3) 業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の事実に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

(4) 沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一ヶ月間を「沈黙期間」としております。この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

(5) ディスクロージャー ポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任(CSR)」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャー ポリシーを周知徹底し遵守いたします。